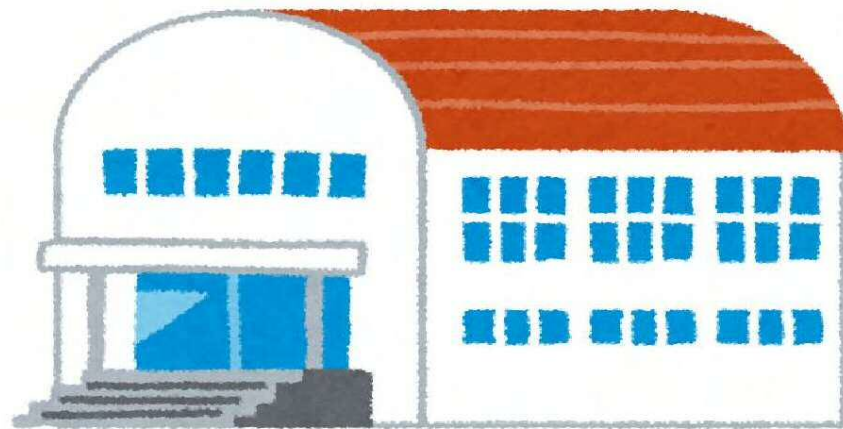


# 施設の安全確認

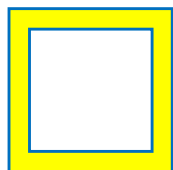
安全確認がされるまで、避難者を避難所に収容することはできません



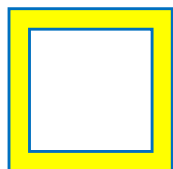
# 施設の安全確認

- すぐに室内へ入るのは危険です。
- 余震が落ち着いてきたら、建物に危険がないか確認します。

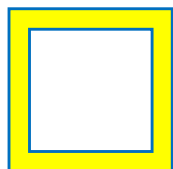
# 手 順



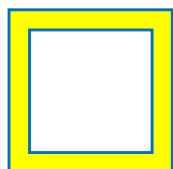
## 道具の準備



## 安全確認



## 使用の検討



## 受け入れ表示

☐ (別添1)避難所開設チェックリスト

☐ (別添2)学校平面図

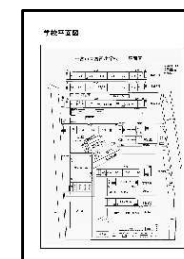
☐ 各種表示、立入禁止テープ  
養生テープ



など



(別添1)避難所開設チェックリスト



(別添2)学校平面図

# 8つの手順

**手順① 校門から屋内運動場まで動線確認**

手順② 屋内運動場(外部)を安全確認

手順③ 屋内運動場(内部)を安全確認

手順④ 避難所としての必要な機能確認

手順⑤ その他使用する予定の施設確認

手順⑥ 使用場所及び用途を検討

手順⑦ 使用可、不可、安全及び危険表示

手順⑧ 避難者へ情報提供

## 手順① 校門から屋内運動場まで動線確認

### 避難者の安全ルートを確認、確保します

- 周囲に危険物が無い。
- 大きな被害（液状化、地割れ等）が無い。
- 障害物が撤去できている。
- 落下物が撤去できている。
- ※ 以上の4点を確認し、安全なルートを確保します。  
安全確認には2人一組が望ましい。

# 8つの手順

手順① 校門から屋内運動場まで動線確認

**手順② 屋内運動場(外部)を安全確認**

手順③ 屋内運動場(内部)を安全確認

手順④ 避難所としての必要な機能確認

手順⑤ その他使用する予定の施設確認

手順⑥ 使用場所及び用途を検討

手順⑦ 使用可、不可、安全及び危険表示

手順⑧ 避難者へ情報提供

## 手順② 屋内運動場(外部)を安全確認①

屋内運動場を外から見て、安全確認をします。

別添1「避難所開設チェックリスト」を用意します。

【避難所開設チェックリスト】 別添1

判断に迷う場合は、画像を本部へ送り、建築部の指示を受けてください。

① 外部調査 外周を1周して建物の上から下まで目視してください。  
1つでもチェックがある場合は、危険なため建物を**一時使用不可**として、災害対策本部へ二次元コードから画像を送ってください。判断に迷う場合でも、画像を本部へ送り、建築部の指示を受けてください。  
※使用不可の場合は、チェック終了です。

|      |                                     |                          |
|------|-------------------------------------|--------------------------|
| 建物外部 | 建物全体、又は一部が崩壊                        | <input type="checkbox"/> |
|      | 建物全体、又は一部の傾斜を発見                     | <input type="checkbox"/> |
|      | 屋根、外壁、窓ガラスなどの落下を発見                  | <input type="checkbox"/> |
|      | 基礎が崩壊                               | <input type="checkbox"/> |
|      | 上部構造と基礎がずれを発見                       | <input type="checkbox"/> |
| その他  | 隣接建物の崩れにより避難所に被害あり                  | <input type="checkbox"/> |
|      | 隣接建物から器物(窓枠・外壁・屋外機器など)が落下し、避難所に被害あり | <input type="checkbox"/> |
|      | 避難所周囲の地盤が崩れ、避難所への侵入ができない            | <input type="checkbox"/> |

上記①に該当が無ければ避難所内に入り、②の確認をしてください。

② 内部調査 体育館の中に入り天井と壁を1周回ってください。  
1つでもチェックがある場合は、危険なため建物を**一時使用不可**として、災害対策本部へ二次元コードから画像を送ってください。判断に迷う場合でも、画像を本部へ送り、建築部の指示を受けてください。

|                        |                          |
|------------------------|--------------------------|
| 出入口の開閉ができない            | <input type="checkbox"/> |
| 天井材、壁材の落下を発見           | <input type="checkbox"/> |
| 吊物(照明器具、スピーカーなど)の落下を発見 | <input type="checkbox"/> |
| 目視できる範囲以下の状況(鉄骨の損傷)を発見 | <input type="checkbox"/> |






①②のチェックが入らなかった場合は、**使用可能**です。  
避難所を開設してください。

③ その他避難所状況  
下記にチェックがある場合は、以下二次元コードから画像を送ってください。  
※避難所の開設準備を優先し、落ち着いたら確認してください。

|                                                                                |                                   |                          |
|--------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------|--------------------------|
| 建物外部                                                                           | 外壁の部分的なひび割れ、外装タイルなどの一部落下の可能性を発見   | <input type="checkbox"/> |
|                                                                                | 窓ガラスのひび割れを発見                      | <input type="checkbox"/> |
|                                                                                | 隣接建物から器物(窓枠・外壁・屋外機器)の落下の可能性を発見    | <input type="checkbox"/> |
|                                                                                | 避難所周囲の地盤が崩れ、一部の出入口が使用不能(対角の使用は可能) | <input type="checkbox"/> |
| 建物内部                                                                           | 内装材(天井材、壁材)の割れ、ずれ、落下の可能性などを見      | <input type="checkbox"/> |
|                                                                                | 窓ガラスのひび割れを発見                      | <input type="checkbox"/> |
| その他確認して欲しい箇所・修繕を依頼したい箇所あり<br>例:照明が落ちていないが、落ちそうな状態<br>※順次、専門業者が現地確認し、安全確認を行います。 |                                   | <input type="checkbox"/> |

判断に迷う場合は、画像を本部へ送り、建築部の指示を受けてください。

**① 外部調査** 外周を1周して建物の上から下まで目視してください。

1つでもチェックがある場合は、危険なため建物を**一時使用不可**として、災害対策本部へ二次元コードから画像を送ってください。判断に迷う場合でも、画像を本部へ送り、建築部の指示を受けてください。

※使用不可の場合は、チェック終了です。



|      |                                     |                          |
|------|-------------------------------------|--------------------------|
| 建物外部 | 建物全体、又は一部が崩壊                        | <input type="checkbox"/> |
|      | 建物全体、又は一部の傾斜を発見                     | <input type="checkbox"/> |
|      | 屋根、外壁、窓ガラスなどの落下を発見                  | <input type="checkbox"/> |
|      | 基礎が崩壊                               | <input type="checkbox"/> |
|      | 上部構造と基礎がずれを発見                       | <input type="checkbox"/> |
| その他  | 隣接建物の崩れにより避難所に被害あり                  | <input type="checkbox"/> |
|      | 隣接建物から器物(窓枠・外壁・屋外機器など)が落下し、避難所に被害あり | <input type="checkbox"/> |
|      | 避難所周囲の地盤が崩れ、避難所への侵入ができない            | <input type="checkbox"/> |

上記①に該当が無ければ避難所内に入り、②の確認をしてください。

## ② 内部調査 体育館の中に入り天井と壁を1周見回ってください。

1つでもチェックがある場合は、危険なため建物を**一時使用不可**として、災害対策本部へ二次元コードから画像を送ってください。判断に迷う場合でも、画像を本部へ送り、建築部の指示を受けてください。



|                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| 出入り口の開閉ができない            | <input type="checkbox"/> |
| 天井材、壁材の落下を発見            | <input type="checkbox"/> |
| 吊物(照明器具、スピーカーなど)の落下を発見  | <input type="checkbox"/> |
| 目視できる範囲で以下の状況(鉄骨の損傷)を発見 | <input type="checkbox"/> |

柱や柱を固定する部材が変形又は破断している。

柱と柱の間の筋かいが破断している。

柱の根元が著しく破壊されている。

柱と梁の接合部やボルト部材等が破壊されている。

①②のチェックが入らなかった場合は、**使用可能**です。  
避難所を開設してください。

### ③その他避難所状況

下記にチェックがある場合は、以下二次元コードから画像を送ってください。

※避難所の開設業務を優先し、落ち着いたら確認してください。



建築部職員による危険な箇所には保安設備を設置する等の指示を受けてください。(参考:保安対応マニュアル)

|                                                                                |                                    |                          |
|--------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------|--------------------------|
| 建物外部                                                                           | 外壁の部分的なひび割れ、外装タイルなどの一部落下の可能性を発見    | <input type="checkbox"/> |
|                                                                                | 窓ガラスのひび割れを発見                       | <input type="checkbox"/> |
|                                                                                | 隣接建築物から器物(窓枠・外壁・屋外機器)の落下の可能性を発見    | <input type="checkbox"/> |
|                                                                                | 避難所周囲の地盤が崩れ、一部の出入り口が使用不能(対角の使用は可能) | <input type="checkbox"/> |
|                                                                                | 内装材(天井材、壁材)の割れ、ずれ、落下の可能性などを発見      | <input type="checkbox"/> |
| 建物内部                                                                           | 窓ガラスのひび割れを発見                       | <input type="checkbox"/> |
| その他確認して欲しい箇所・修繕を依頼したい箇所あり<br>例:照明が落ちていないが、落ちそうな状態<br>※順次、専門業者が現地確認し、安全確認を行います。 |                                    | <input type="checkbox"/> |

## 手順② 屋内運動場(外部)を安全確認②

屋内運動場を外から見て、安全確認をします。

### 別添1「避難所開設チェックリスト」

#### ① 外部調査 を確認。

外周を1周して建物の上から下まで目視してください。

※1点でも該当する場合は、屋内運動場は一時使用禁止。

災害対策本部へ二次元コードから報告。



【避難所開設チェックリスト】 別添1

判断に迷う場合は、画像を本部へ送り、建築部の指示を受けてください。

① 外部調査 外周を1周して建物の上から下まで目視してください。

1つでもチェックがある場合は、危険なため建物を一時使用不可として、災害対策本部へ二次元コードから報告を必ずしてください。判断に迷う場合でも、画像を本部へ送り、建築部の指示を受けてください。

※使用不可の場合は、チェック終了です。

|      |                                     |                          |
|------|-------------------------------------|--------------------------|
| 建物外部 | 建物全体、又は一部が崩壊                        | <input type="checkbox"/> |
|      | 建物全体、又は一部の傾斜を発生                     | <input type="checkbox"/> |
|      | 屋根、外壁、窓ガラスなどの落下を発生                  | <input type="checkbox"/> |
|      | 基礎が崩壊                               | <input type="checkbox"/> |
| その他  | 上部構造と基礎がずれを発生                       | <input type="checkbox"/> |
|      | 隣接建物の倒壊により避難所に被害あり                  | <input type="checkbox"/> |
|      | 隣接建物から建物(窓枠・外壁・屋外機器など)が落下し、避難所に被害あり | <input type="checkbox"/> |
|      | 避難所周辺の地盤が崩れ、避難所への侵入ができない            | <input type="checkbox"/> |

上記1に該当がなければ避難所内に入り、②の確認をしてください。

## ●被害例



建物全体、又は一部が崩壊している。



建物全体、又は一部が傾斜している。



建物の基礎が崩壊、又は基礎がずれている。



建物全体、又は一部が傾斜している。

出典：大規模地震発生直後における施設管理者等による建物の緊急点検に係る指針 平成27年2月（内閣府）

## ●被害例



鉄筋が曲がり内部コンクリートも崩れ落ちている。



表面のコンクリートが  
はがれ落ちている。



壁の向う側が透けて見えている。



大きなひび割れがある。

出典：大規模地震発生直後における施設管理者等による建物の緊急点検に係る指針 平成27年2月（内閣府）

## ●被害例(危険な場所を避けて、屋内運動場の使用は可能)



窓枠、窓ガラスに歪みやひび割れがある。



屋外階段が傾斜、破損している。



モルタルやタイル等にひび割れや剥離等がみられる。



外装板材等に隙間や顕著なずれや板の破壊がみられる。

出典:大規模地震発生直後における施設管理者等による建物の緊急点検に係る指針 平成27年2月(内閣府)

# 8つの手順

手順① 校門から屋内運動場まで動線確認

手順② 屋内運動場(外部)を安全確認

**手順③ 屋内運動場(内部)を安全確認**

手順④ 避難所としての必要な機能確認

手順⑤ その他使用する予定の施設確認

手順⑥ 使用場所及び用途を検討

手順⑦ 使用可、不可、安全及び危険表示

手順⑧ 避難者へ情報提供

## 手順③ 屋内運動場（内部）を安全確認

屋内運動場を内から見て、安全確認をします。

別添1「避難所開設チェックリスト」

### ② 内部調査 を確認。

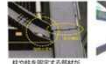
体育館の中に入り天井と壁を  
1周見回ってください。

※1点でも該当する場合は、屋内運動場は一時使用禁止。

災害対策本部へ二次元コードから報告。

② 内部調査 体育館の中に入り天井と壁を1周見回ってください。  
1つでもチェックがある場合は、危険なため建物を一時使用不可として、災害対策本部へ二次元コードから報告を速くしてください。判断に迷う場合でも、直ちに本部へ送り、建築部の指示を受けてください。

|                         |                          |
|-------------------------|--------------------------|
| 出入口の開閉ができない             | <input type="checkbox"/> |
| 天井材、壁材の落下を発見            | <input type="checkbox"/> |
| 汚物(照明器具、スピーカーなど)の落下を発見  | <input type="checkbox"/> |
| 目視できる範囲で以下の状況(鉄骨の損傷)を発見 | <input type="checkbox"/> |



①②のチェックが入らなかった場合は、使用可能です。  
避難所を開設してください。



# ●屋内運動場の内部名称



# ●被害例



柱と柱を固定する重要な部材が変形、又は破断している。



柱と柱の間の筋かい(斜めに入っている建物を補強しているもの)が切れている。



柱と梁の接合部やボルト部材等が破壊されている。



柱の根元が著しく破壊されている。



壁際と天井の隙間や接合部が破損している。

# 8つの手順

手順① 校門から屋内運動場まで動線確認

手順② 屋内運動場(外部)を安全確認

手順③ 屋内運動場(内部)を安全確認

**手順④ 避難所としての必要な機能確認**

手順⑤ その他使用する予定の施設確認

手順⑥ 使用場所及び用途を検討

手順⑦ 使用可、不可、安全及び危険表示

手順⑧ 避難者へ情報提供

## 手順④ 避難所としての必要な機能確認

ライフラインの被害状況を確認します。

避難所として必要な機能

□屋内運動場の電気(例:コンセント、電話の使用状態)

□屋内運動場のトイレ(例:水漏れ、詰まり)

□屋外の水飲み場(例:水漏れ、給排水管の破損)

必要に応じ、地区連絡所又は災害対策本部へ連絡。

# 8つの手順

手順① 校門から屋内運動場まで動線確認

手順② 屋内運動場(外部)を安全確認

手順③ 屋内運動場(内部)を安全確認

手順④ 避難所としての必要な機能確認

**手順⑤ その他使用する予定の施設確認**

手順⑥ 使用場所及び用途を検討

手順⑦ 使用可、不可、安全及び危険表示

手順⑧ 避難者へ情報提供

## **手順⑤ その他使用する予定の施設確認**

**校舎、教室の安全確認をします。**

屋内運動場が被害により使用できない、又は屋内運動場では収容できないほどの避難者がいる場合、一時的に教室等の使用が必要になる場合があります。

施設管理者と協議のうえ、校舎や使用できる教室の安全確認をします。

別添1「避難所開設チェックリスト」を利用し、関係する項目を確認。

# 8つの手順

手順① 校門から屋内運動場まで動線確認

手順② 屋内運動場(外部)を安全確認

手順③ 屋内運動場(内部)を安全確認

手順④ 避難所としての必要な機能確認

手順⑤ その他使用する予定の施設確認

**手順⑥ 使用場所及び用途を検討**

手順⑦ 使用可、不可、安全及び危険表示

手順⑧ 避難者へ情報提供

## 手順⑥ 使用場所及び用途を検討

安全点検をした結果を踏まえ、避難者を受け入れる場所及び用途を決めます。

屋内運動場内の使用用途を分けましょう。

居住スペース

授乳スペース

救護スペース

育児スペース

介護スペース

着替えスペース

体調不良者スペース

本部スペース

屋内運動場が使用できない場合や避難者が屋内運動場のみでは収容できないほどの人数がいる場合は、下記の8つのスペースが必要であるため、各教室で割り振りを行ったり、教室が足りない場合は、(例)育児、授乳スペースを1つの教室で設ける等を検討すること。

居住スペース

救護スペース

介護スペース

授乳スペース

育児スペース

着替えスペース

体調不良者スペース

本部スペース

# 8つの手順

手順① 校門から屋内運動場まで動線確認

手順② 屋内運動場(外部)を安全確認

手順③ 屋内運動場(内部)を安全確認

手順④ 避難所としての必要な機能確認

手順⑤ その他使用する予定の施設確認

手順⑥ 使用場所及び用途の検討

**手順⑦ 使用可、不可、安全及び危険表示**

手順⑧ 避難者へ情報提供

## 手順⑦ 使用可、不可、安全及び危険表示

避難者に見えるよう表示します。

○下記の1～3の表示を手順⑥で決めたとおりに貼る。

1.立入禁止



2.居住スペース



他

3.その他の用途に使う場所

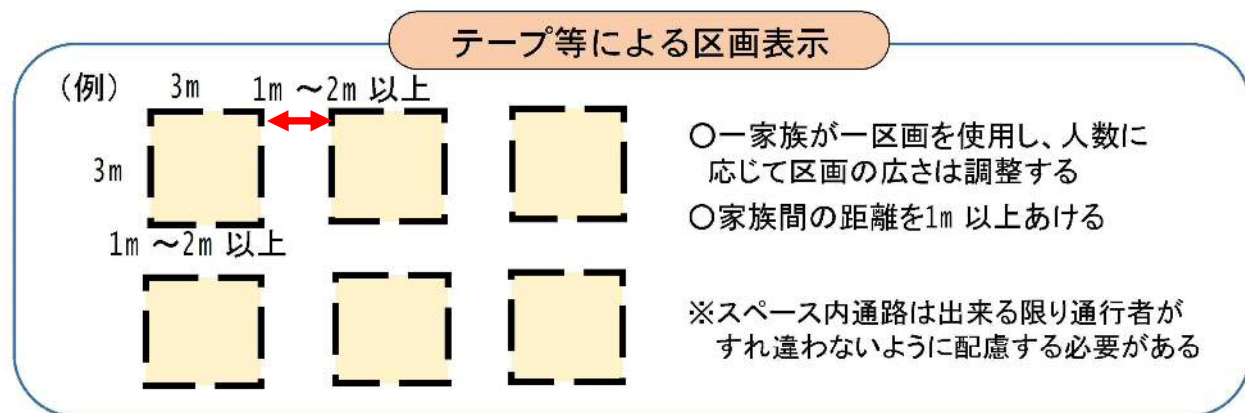


他

## 2.居住スペース

○養生テープで区画表示をする。

リボンテープに3m、1m、2mの目印がしてあります。



○区画表示をしたところに番号札を置いていく。

受け入れ時、できれば町内会ごとに固めると避難所の管理がしやすい。



## 2.居住スペース

○パーティション1組と簡易ベッド1～2台を1区画とし、設置する。

パーティション(ワンタッチ式)



簡易ベッド(組み立て式)



組み立てる



### 3.その他の用途に使う場所

救護スペース

育児スペース

介護スペース

着替えスペース

授乳スペース

体調不良者スペース

○居住スペース同様、必要に応じてパーティションと簡易ベッドを設置する。

○下の表示を、それぞれ決めたスペースに示す。



他

### ○感染症流行時

感染症流行時、発熱等のある人は、一般の避難者とは別の場所、動線とすること。（初動期の例：舞台裏の場所で一般の避難者との間は、どん帳を下ろし別々の空間を作り、舞台袖の出入口1箇所を専用出入口として設ける。）

**安全確認中を撤去します。**

○手順⑦の作業が終わったら、「校庭で待機」の際に  
掲示したものを撤去。

**安全確認中**

倒壊等の危険があるかもしれません  
校庭に避難してください

# 8つの手順

手順① 校門から屋内運動場まで動線確認

手順② 屋内運動場(外部)を安全確認

手順③ 屋内運動場(内部)を安全確認

手順④ 避難所としての必要な機能確認

手順⑤ その他使用する予定の施設確認

手順⑥ 使用場所及び用途を検討

手順⑦ 使用可、不可、安全及び危険表示

**手順⑧ 避難者へ情報提供**

## 手順⑧ 避難者へ情報提供

**避難者へ情報提供します。**

例1 「屋内運動場は使用できることを確認しました。  
受付の準備が整い次第、案内します。」

例2 「屋内運動場は損壊があり、使用できません。  
現在、代替施設を調整していますので、もうしばらくお待ち下さい。」